

単位数： 4 単位

対象学年組：第 3 学年 C、D 組

教科担当：（ 盛 健二 ）

使用教科書：（ 詳述 政治・経済 （実教出版） ）

教科 地歴公民

の目標：

【知識及び技能】

広い視野に立って、現代の社会について主体的に考察させ、理解を深めるとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を育て、平和で民主的な国家・社会の育成者として必要な公民としての

【思考力、判断力、表現力等】

現代の政治、経済、国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考察しようとしている。

【学びに向かう力、人間性等】

意欲的に課題を追究するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考察しようとしている。

科目 政治・経済

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。	現代の政治、経済、国際関係に関わる事柄から課題を見だし、その本質や特質、望ましい解決の在り方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。現代の政治、経済、国際関係に関わる諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。現代の政治、経済、国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考察しようとしている。

単元名・指導項目・内容	単元の具体的な指導目標	評価規準	知	思	態	配時数
現代国家と民主政治 ①民主政治の成立 ②民主政治の基本原則 ③民主政治のしくみと課題 ④世界のおもな政治制度	人権の保障、国民主権、議会制民主主義、権力分立、法の支配など民主政治の基本原則などについて理解を深める。 ・大統領制や議院内閣制など代表的な政治制度について理解を深める。	・民主政治の本質や現代政治の特質を意欲的に追究しようとしている（授業態度）。 ・国民主権を原理とする民主政治の本質や現代政治の様々な特質について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を様々な方法で表現している（発問評価）。 ・現代政治の特質に関する情報を収集し、適切に活用できる（提出課題）。 ・民主政治の基本的な概念や理論を理解し、その知識を身に付けている（定期考査）。	○	○	○	15
日本国憲法と基本的人権 ①日本国憲法の成立 ②日本国憲法の基本原則 ③自由で生きる権利（1） ④自由で生きる権利（2） ⑤平等で生きる権利 ⑥社会権と参政権・請求権 ⑦新しい人権 ⑧人権の保障と公共の福祉 定期考査	・日本国憲法の成立過程及び日本国憲法に定める基本的人権の保障について理解を深める。 ・生命の尊重、自由・権利と責任・義務、人間の尊厳と平等などについて考察する	・主権者として憲法成立過程と基本的人権の内容を意欲的に追究しようとしている（授業態度）。 ・人権問題を多面的・多角的に考察し、根拠と考察を様々な方法で表現している（発問評価）。 ・人権問題の事時的な資料を収集し、適切に活用できる（提出課題）。 ・憲法が普遍性を持つことに気づき、人権が生まれながらの権利であること、他者の権利を尊重することを理解し、知識を身に付けている（定期考査）。	○	○	○	1
日本の政治制度と政治参加 ①政治機構と国会 ②内閣と行政機能の拡大 ③公正な裁判の保障 ④地方自治と住民福祉 ⑤政党政治 ⑥選挙制度 世論と政治参加現代の国際政治 ①国際社会と国際法 ②国際社会の変化 ③国際連合と国際協力 定期考査	・日本の行政、立法について理解を深める。 ・司法制度を理解し、法や規範の意義や役割について理解を深め、法意識を高める。 ・地方自治の意味を理解する。 ・政治参加の重要性と民主社会において、自ら生きる倫理について自覚を深めさせ、主権者としての意識を身に付ける。 ・国際法の意義について理解する。 ・国際連合の目的、平和と安全を維持する組織構成や取り組みを理解する。	・現代政治への関心が高まり、主権者意識が身に付いている（授業態度）。 ・政治について考察し、政治の在り方を公正に判断し、その結果を適切に表現している（発問評価）。 ・主権者として判断に必要な情報を適切に選択し、活用している（提出課題）。 ・日本の政治制度について理解し、その知識を身に付けている（定期考査）。	○	○	○	35
日本の平和主義と国際平和 ①平和主義と自衛隊 ②米安全保障体制の変化 ③21世紀の平和主義 ④日本の外交と国際社会での役割 現代の経済社会 ①経済社会の変容 ②経済主体と市場の働き ③企業と役割 ④国民所得 ⑤経済成長と国民の福祉 ⑥金融の役割 ⑦日本銀行の役割 ⑧財政の役割と租税 ⑨日本の財政の課題現代の日本経済と福祉の向上 ⑩戦後復興から高度経済成長へ ⑪安定成長からバブル経済へ ⑫日本経済の課題 ⑬中小企業と農業	日本の安全を守る安全保障政策について理解するとともにこれからの防衛政策について考察する。 ・経済の主体と経済活動の意義、現代の経済社会の変容について理解を深める。 ・市場機構の機能と限界を理解し、市場の問題点を考察する。 ・個人や企業の経済活動における役割と責任について考察する。 ・経済成長や景気変動と国民福祉の向上の関連について考察する。 ・金融、政府の役割と財政、租税について理解を深め、日本の経済政策の方向性を考察する。 ・日本経済の現状がどのように成り立っているのか理解を深める。 ・日本の中小企業や農業の現状を理解し、その課題を考察する。 ・消費者の立場や権利を確認し、消費者保護について考察する。 ・公害の発生原因と対策を通して、環境への取り組みや循環型社会について考察する。 ・日本の雇用、労働、社会保障について理解を深める	・平和主義の内容を意欲的に追究しようとしている（授業態度）。 ・現代日本の政治や経済の諸課題に対する関心を高め、意欲的に課題を追究している（授業態度）。 ・現代日本の政治や経済の諸課題を多面的・多角的に考察し、その過程や結果をさまざまな方法で適切に表現している（発問評価）。 ・現代の政治、経済、国際関係に関わる諸資料を、国内外を問わず適切に選択し、活用している（提出課題）。 ・現代の日本がかかえるさまざまな課題について、国際的な視点も踏まえながら理解し、その知識を身に付けている（提出課題）。 ・国際社会の政治や経済の諸課題に対する関心を高め、意欲的に課題を追究している（授業態度）。 ・国際社会の政治や経済の諸課題を多面的・多角的に考察し、その過程や結果をさまざまな方法で適切に表現している（発問評価）。 ・国際関係に関わる諸資料を適切に選択し、活用	○	○	○	39

